

教員公募要項

山口大学経済学部

1. 採用分野	<p>「観光メディア論」及び「プロジェクト演習」</p> <p>「観光メディア論」で「観光とソーシャルメディア」に関する教育研究を担当でき、「プロジェクト演習」で学生の学外活動を指導できる方</p> <p>専門は、メディア論・観光政策論・交通論・旅行約款・インバウンド観光プロモーション・観光地マネジメント・観光社会学・観光心理学・観光文化人類学・観光実務等、いずれでも歓迎します。</p> <p>そのほか、職位等により、学部・大学院の関連科目、学部・大学院演習（准教授）、全学の共通教育の関連科目等も担当していただくことになります。また、その他の演習などの学科のオムニバス授業を分担していただくこともあります。</p>
2. 公募人員	1名
3. 職名	<p>准教授、講師、又は助教</p> <p>※助教での採用の場合は、任期5年、再任審査により1回限り5年の再任可。また、任期中に講師への昇任審査の機会があります。</p>
4. 採用予定時期	令和6年10月1日
5. 応募資格	<p>①女性であること</p> <p>※山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性に限定した公募を実施します。</p> <p>②大学院博士課程（後期課程）修了者若しくは修了見込みの方、又はこれと同等以上の研究業績を有すると認められる方</p> <p>③必須要件ではありませんが、博士（修士）の学位取得後16年以内の者であることが望ましい</p> <p>④国籍は問いません（但し、日本語で授業を担当できる方）</p>
6. 待遇	<p>年俸制（国立大学法人山口大学年俸制適用職員給与決定規則による）</p> <p>賞与：あり（年2回）</p> <p>諸手当：通勤手当、住居手当、扶養手当（各種支給要件に該当する場合）</p> <p>保険等：共済保険（医療、休業、災害給付等）、共済年金、雇用保険、労働者災害保険</p>
7. 勤務時間	<p>週5日（月～金）、専門業務型裁量労働制（7時間45分のみなし労働）</p> <p>休日は土曜日、日曜日、国民の祝日及び年末年始</p>
8. 提出書類	<p>①履歴書（別添様式）（e-mailアドレスを付記してください）：1部</p> <p>②卒業及び修了証明書、または修了予定証明書：各1通</p> <p>③研究業績一覧表（別添様式）：1部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著書または論文のうち主要なもの3点に○を付してください</li> <li>・著書・論文（学位論文を含む）と学会報告を分けて記載してください</li> </ul>

	<p>④③で○を付した著書・主要論文3点の別刷又はコピー：各3部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著書及び博士論文は1冊で結構です</li> </ul> <p>⑤③で○を付した著書・主要論文の概要：各3部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・著書（もしくは博士論文）1000字程度、主要論文400字程度</li> </ul> <p>⑥職歴内容調書（大学常勤教員以外の職）（別添様式）：1部</p> <p>⑦「観光メディア論」のシラバス（授業15回分）：各3部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シラバスの様式は自由です</li> </ul>
9. 応募期限	令和6年4月30日（火）【必着】
10. 書類提出先	<p>〒753-8514 山口市吉田1677-1</p> <p>山口大学経済学部総務企画係（電話 083-933-5503）</p> <p>*応募書類の封筒等に「教員応募書類「観光メディア論」在中」と朱書きのうえ、「簡易書留」にて郵送してください。</p>
11. その他	<p>①提出書類等は原則として返却いたしません。なお、著書については、返却を希望する場合、その旨ご連絡ください。</p> <p>②追加で全ての業績（コピー可）及びその他必要な書類の提出を求めることがあります。</p> <p>③応募、面接のために必要な費用（郵送料、旅費等）については応募者の負担となります。</p> <p>④1次選考として上記書類による審査を行い、1次選考通過者には本学において面接（及び30分程度の模擬授業）をお願いすることになります（最終選考）。</p> <p>⑤採否については令和6年7月末までに通知する予定です。</p> <p>⑥本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行なっており、吉田キャンパス内での長期休暇中の学童保育の実施や、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。</p> <p>⑦応募書類の個人情報につきましては、厳格に取り扱い、採用審査以外の目的に使用いたしません。</p> <p>⑧ご不明な点は、観光政策学科長・武本 Timothy (taktim■yamaguchi-u.ac.jp) までお問い合わせください。※■の部分には@マークを入力してください。</p>

## 山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

### 研究についての支援

#### 研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

#### 研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

#### 女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

#### 留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

### 子育てや介護についての支援

#### 学童保育 ヤマミ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

#### たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名  
病後児保育3名

#### 企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

#### 病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

#### 学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸し出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

#### 介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供するサービスを受けることができます。

【相談】  
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】  
離れて暮らす御両親のお世話等を専門職が代行し、支援します。

#### カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索

山口大学 ダイバーシティ